

法政大学後援会

全国支部長会議の報告

法政大学後援会は、11月16日（土）に市ヶ谷キャンパスで、全国支部長会議を開きました。長野県支部からは中原かおる支部長が出席。会議では、廣瀬総長のご挨拶をはじめ、学生生活の注意点など保護者として参考になる内容が盛りだくさんでした。また後援会からは各支部のチャレンジ予算の状況報告やグループ・ディスカッションがあり、今後の支部運営に有意義な会議となりました。その要点について、中原支部長の報告です。



廣瀬総長 “大学の未来像”

廣瀬総長は、「これからの法政大学が学生にとってどんなオンリーワンの価値を準備できるか模索しつつ、学生にとってこの大学ならば可能性を見出してくれると思ってもらえる大学になっていきたい」と語りました。



春の法政大学市ヶ谷キャンパス

チャレンジ予算の活用状況

今年度から、各支部の独自の取り組みに対し最高15万円を補助する「チャレンジ予算」を設けていただきました。本部から活用状況が報告され、これまでに15支部で、神宮の6大学野球応援や在学生との交流など計21イベントに利用されていました。

長野県支部では、皆様のお手元にご案内をお送りした「軽井沢バス事故の献花式」(2025年1月13日予定)で活用します。支部長会議の場でも紹介していただきました。グループディスカッションでは、茨城県、群馬県、福島県、九州北部の各支部の方々と活動状況や本部への要望、運営上の悩みなどを意見交換しました。

後援会本部には、各支部の活動が活発になるよう親身になって取り組んでいただいています。この場を借りてお礼申し上げます。

学生生活の課題と大学の取り組み

講演「最近の学生の課外活動と生活トラブル事例」

武生 昌士学生センター長

▽学生センターは、授業以外の学生生活に関する学生支援を担当
▽トラブル 学生の課外活動がコロナ前のように活発になってきた。

サークルにおける人間関係、部費等をめぐる金銭トラブルなどに注意。
▽薬物 近年、全国的に増加傾向で、学生の身近に存在する。

多摩キャンパスで「薬物乱用防止セミナー」を開催予定。

▽飲酒トラブル 発生していない。コロナ禍を経て学生の飲酒文化にも変化が生じているようだ。

▽マルチまがい商法 マルチまがい商法「投資リストの入ったUSBメモリーを50万円で購入しないか」などの手口に注意。

▽悪質な旅行者(契約トラブル) 予定人数以上の契約をさせたうえでキャンセル料を多額に請求する手口に注意。

▽緊急時に大学から保護者に電話をかけることも。

以下で始まる番号は大学の可能性が高いので、ご理解を。

市ヶ谷 03-3274- ()

多摩 042-783- ()

小金井 042-387- ()

武生センター長は、「親御さんには、定期的に学生の話聞き、何かあった時は将来のために真剣に叱ってあげて欲しい」と協力を求めました。



本部役員の方々と記念撮影
会議を終えほっとした表情の
中原支部長(右から2人目)

「長野県支部便り」は支部の動きや情報を随時発信していきます。支部運営へのご協力をお願いいたします。
(副支部長 早川) eijihy@gmail.com

